

震災対策本部ニュース3号

可能な限り診療維持が基本方針

ー東北電力も輪番計画停電を発表ー

◎庄内は17日9-12時ー土日・祝日は停電無しー22日以後の計画は後日発表

昨日県庁で東北電力が記者会見し、16～18日の輪番計画停電を発表した。16日午前の停電は回避され、3連休期間は停電は無い予定。ただし、22日以降は改めて計画を発表するとしており、停電の実施は17日だけでは無い。電気が使えないことで電子カルテや各種検査、治療機器が使用不能となり、大幅な制限診療を余儀なくされるが対策本部では可能な範囲・方法で診療を継続することを基本方針として確認した。また、透析治療など電気なしには不可能な治療は時間をずらして実施することとするが、患者・組合員への広報の問題もあり、診療方針の変更は各事業所で判断せず、対策本部の判断と指示を受けてください。

第4陣ー本日昼松島医療生協へ向かいます

昨日、職員3名が被災し死亡した松島医療生協から、「全国からの支援物資が松島には全く入ってこない。水没を免れた診療所2階を使って診療を再開したいが、被害建物の後片付けをする体制もない、とSOS発信があった。全日本対策本部にも連絡して、本日急遽松島へ向けて第4陣の支援隊を派遣することを決定した。

支援物資・第5陣以降の志願者募集

市内の店舗に支援に必要な物資はほとんど残っていません。ファルマ山形や共立社等にも物資の供出を要請していますが、職員の皆さんにも可能な物資の供出を要請します。

また、明日17日以降も、支援物資配送車を派遣する予定ですし、日本海ルートの全国支援隊も庄内医療生協を前線基地として入ってきますので、物資輸送を担ってくれ身体堅固な青年職員が必要です。協力可能な職員は職場長などを通じて対策本部に申し出て下さい。

◎基準を超えるオーバーベットは認定しないー山形県の見解

協立及びリハビリ病院の入院需要が高まっていることから、緊急事態対応として、診療報酬制度基準を上回る入院の受入が許容されるか否かについての問い合わせを、笹山県会議員を通じて行ないましたが、「現状は山形県内の医療機関での被災地からの受入患者は余り多くなく、基準を超えた入院が必要な状況とは判断していないので、オーバーベットは許容しない」「患者からの苦情などは直接県につないでくれ」という見解が示されました。

<緊急要請物品リストは裏面です>

東日本大震災 支援要請物資 一覧

緊急度の大きいもの		支援して欲しいもの
	物品	物品
食糧	ペットボトル水	チョコレート
	粉ミルク	クラッカー
	アレルギー用ミルク	カロリーメイト
	米 10kg	ベビーフード
	水・お湯戻しご飯・餅	飴
	缶詰(魚など)	クッキー
	缶詰(果物)	
	レトルト食品	
	果物(バナナ・みかん)	
	ソーセージなど	
防寒具	カイロ	毛布
		シュラフ
		カッパ
		アルミシート
衛生	マスク	ポータブルトイレ
	ナプキン	パンティライナー
	トイレトペーパー	消毒液
	紙おむつ	さらさらシート
	ウェットティッシュ	携帯トイレ
	水のいらないシャンプー	
	使い捨ておしぼり	
その他	男女衣類	ゴムヘラ
	男女肌着・靴下	キッチンペーパー
	子ども衣類	鍋
	サランラップ	マット
	割り箸	ブルーシート
	紙皿	ひも
	紙コップ	ビニール袋
	カセットコンロ	発電機 手動
	ガスボンベ	タオル
	懐中電灯	バスタオル
	ラジオ	携帯充電器
	乾電池	ガソリン携行用20ℓ容器
	水用ポリタンク	ゴミ袋
文具		マジック
		ペン
		ガムテープ
		セロテープ
		紙
		クリップボード